



物をはじめとする「食」の魅力を活かした、ツアー商品の造成を進めることで、旅行商品の高付加価値化を、さらに目指していきたいという提案があり、次年度に向けて、一層の連携を深めていかなければと受け止めてきました。

利尻礼文サロベツ国立公園指定50周年について

利尻礼文サロベツ国立公園は、本市と周辺町村の1市5町で構成され、昭和49年9月、国内で27番目に指定された日本最北の国立公園であり、本年、記念すべき50周年を迎えました。

これを受けて、本市としては、これまで市民の意識啓発のための市庁舎での懸垂幕の掲揚、キタカラやフェリーターミナル、空港における大型タペストリー

の設置、また、公共施設における写真展の開催をはじめ、全道版の観光情報誌への情報提供や、「みどりスポーツパーク」の壁面広告の掲示など、様々なPR活動をを行うとともに、さらには、観光客に対しても、日本最北到達証明書や、国立公園50周年特別版の作成や、記念ロゴマークのステッ

また、FDAからは、さらに搭乗者数を増やし、地域経済の活性化に貢献するために、改めて当地の海産

カーの配布を行うなど、市内外への広い周知活動によって、50周年に対する気運の醸成に努めてきました。そのような中で、先月5日、本市が会長市である「稚内・利尻・礼文・サロベツ観光振興協議会」が、環境省北海道地方環境事務所との共催により、利尻町において、指定50周年を祝した記念式典を執り行いました。

記念式典には、環境省から飯田大臣官房審議官にお越しいただいたほか、関係する行政機関や国立公園の環境保全に取り組みしている団体の代表者など、多くの方々にご出席いただき、節目の年を盛大に祝うことができました。

今後はこの50周年を契機として、さらに関係機関と連携を深めながら、この最北の国立公園という特性を最大限に活用し、自然景観や生物多様性の維持などの

環境保全の取組はもとより、観光利用による地域経済の活性化を目指しながら、この地域の存在を内外に強くアピールしていきたいと考えています。



市長のおでかけミーティング 【稚内ローターアクトクラブ・編】

市長と団体やグループの皆さんが意見交換を行う「市長のおでかけミーティング」を11月21日(木)に市



役所で開催しました。今回は、日頃から奉仕活動を通じて地域貢献を行っている、若い人たちが組織する稚内ローターアクトクラブの5名と市長のほか、クラブの皆さんと同世代の市職員7名も同席して、意見交換を行いました。市長からは「今回のテーマは次の世代に繋がっていく話、いずれこのまちを背負っていく世代として、皆さんと同じ年代の市職員とも様々な意見を交わし、お

互いに理解しあってほしい」と挨拶がありました。クラブからは「稚内ローターアクトクラブの提唱のもと設立され、今年で50年になる。18歳から35歳までの地元の青少年が所属している。などの紹介があり、その後のフリートークでは「他の団体・コミュニティの様子について、例えば子育てサークルの活動状況や周知はどの様になっているのか。」「観光や仕事で来る方に対し、稚内のどんな魅力をどの様に発信しているのか。」など、普段、感じていることや気になっているこ



市広報秘書課
市職員のことも地域を支える担い手や団体・コミュニティ活動の大切さ、稚内市の魅力について、あらためて考える貴重な機会となりました。
お問い合わせ
市広報秘書課
広報・広聴グループ
☎23・6387

12月補正予算		
【一般会計】	17億4,687万1千円	追加
【特別会計】	262万8千円	減額
【企業会計】	1,700万円	追加
【補正総額】	17億6,124万3千円	追加

※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は0.6%の減となります。

【一般会計補正予算の主な内容】	
総務費	16億5,478万2千円
民生費	153万4千円
農林水産業費	6,719万5千円
商工費	39万円
土木費	2,289万円
教育費	8万円